

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 7 月 13 日

留学開始時学年	3 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	総合人間学科
留学先機関名	ダラム大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	☐ 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) ☒ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☐ その他：		
留学期間	2022 年 9 月 21 日 ~ 2023 年 6 月 30 日		
奨学金	☒ JASSO海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 ☐ その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	熊大の授業料				円
語学研修費					円
教材費					円
ビザ申請費	62,019				円
渡航費	108,250(燃料費)				円
海外旅行保険料	177,821				円
宿舍費	家賃	1,437,000	円	デポジット	33,000 円
生活費	光熱費	円	/ 月	円	/ 年
	食費	円	/ 月	円	/ 年
	通信費	円	/ 月	円	/ 年
	交通費	円	/ 月	円	/ 年
その他	(費)				円
その他	(費)				円
その他	(費)				円
合計	1709840				円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他： 語
受験した語学能力試験	☒ IELTS ☐ TOEFL-iBT ☐ その他：
勉強方法	British accent に慣れるために毎朝BBC NEWSを聞き流していた。
留学先の手続き	
必要書類	☒ 語学能力証明書 (英 語) ☐ 健康診断書 ☐ パスポートの写し ☐ その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	IELTSはとにかく量をこなすことを意識しました。問題の形式も英検やTOEICとは違っていて特殊だったため、問題に慣れるために熊大の図書館にあるIELTSの本は全て目を通し何度も解きました。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	☒ 有 ☐ 無	種類	学生ビザ
申請先	☒ 国内 ☐ 現地 場所： 東京	手続きに 要した期間	1ヶ月程度
手続きの流れ	大学にメールでCASナンバーの申請をする→ビザ申請センターでアポを取る(必要な書類を全て持っていく)		
必要書類	☒ 入学証明書 ☐ 残高証明書(金額：) ☐ 保険証 ☒ パスポート ☒ 語学能力証明書 ☒ その他：大学から発行されるCAS ナンバー		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地		
往路：タイ航空 復路：ルフトハンザ航空	往路：タイ 復路：ドイツ		
手配(利用したサイト、旅行会社等)	旅程		
ANA	出発日時	9月	20 日
	到着日時	6月	30 日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	☒ 寮 ☐ アパート ☐ その他：	部屋の形態	☒ 1人部屋 ☐ 相部屋(人) ☐ その他：
同居人	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生	住居手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で ☐ その他：
住居の申込 手順・方法	大学側から割り振られた		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	トイレ、シャワーは共同だった。タオルは何枚か持って行っておいた方が良い。		
大学への交通手段	☐ バス ☐ 電車 ☒ 徒歩 ☐ その他：	通学時間	時間 25 分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について（現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等）	
交換留学生で銀行口座を開設する人をあまり見かけなかった。クレジットカードは現地で使えないものもあるため、2種類ほど持って行っておいの方が安心。	
保険について	
海外旅行保険	☒ 国内で加入 ☐ 現地のものに加入
現地で加入を求められる保険	☒ なし ☐ あり：
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について （SIMカードの購入について等）	SIMカードはVISAを申請しに行った際にもらったLebaraを使っていた。
インターネットについて （ネット環境、Wi-Fiについて等）	ダラムは街全体が大学のため、学内のWi-Fiが届くところが多かった。
相談窓口について	
有無	☐ 無し ☒ 学内（担当：寮の校長、教頭先生、ポーター）
問題があったときに 誰に相談したか	寮の先生方
病院について	
☐ 利用しなかった	☒ 利用した：
現地では調達できない日本から持って行くべきもの	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	☐ 渡航前（ 9 月頃） ☐ 渡航後（ 10 月頃）
方法	☒ オンライン ☐ 志願書類の提出 ☐ その他：
留学生特例措置（有りの場合、詳細をご記入ください）	
履修制限	☐ 無し ☒ 有り（ 学部によっては課外授業を受けられないところがある）
優先措置	☒ 無し ☐ 有り（ ）
オリエンテーション （留学生専用）	☐ 無し ☒ 有り（ 留学生向けのイベント紹介や施設の紹介などがあった）
チューター制度	☒ 無し ☐ 有り（ ）
その他	
留学先大学でのサポート体制について （語学面／学校生活／住居・日常生活等）	
寮には24時間体制でポーターがいるため困ったことがあればすぐに相談に行っていた。また、寮では留学生向けのイベントもあった。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
☒ 学生証発行 ☒ 履修登録 ☐ 大学IDの設定 ☐ その他	
手続きの手順	
履修登録は渡航前に焦ってする必要はない。渡航後に実際に授業を受けてみて自分の興味のある内容ではなかったら変更することも可能である。	
大学・学生の雰囲気	
ダラム大学は田舎にあるため、街全体が静かだった。休みの日には友達と散歩に出かけることが多かった。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
meditation society: instagramで見つけた。毎週水曜日の14時から16時まで修道院で行われており、主に瞑想をした。瞑想は初めての試みだったが、日々の自分と向き合うことの大切さを知り、疲れを癒すことができた。 Japanese society: 同じくinstagramで見つけた。日本人学生と日本語に興味がある学生との交流の場であった。お互いに日本語、英語での会話をを行った。Yoga session: 毎週木曜日に図書館で学生向けに無料で行われていた。Mindfulness session: 毎週金曜日に図書館で行われていた。週の振り返りや目標を語り合う場だった。Aroma society: アロマの香る部屋で勉強したりディフューザーを作ったりした。	

8. 留学に関するタイムチャート（留学するまでの準備）

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	TOEIC受験
10月～12月	留学を意識するようになる、IELTS受験
2022年 1月～3月	バイト
4月～6月	留学予定者顔合わせ
7月～9月	留学開始
10月～12月	留学

9. 1週間のスケジュールについて（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
午前			洗濯		マインドフルネスセッション	リーディング	遊ぶ
	レクチャー	レクチャー	レクチャー		セミナー	リーディング	↓
午後	リーディング	リーディング	メディテーション	レクチャー	セミナー	遊ぶ	↓
	セミナー	レクチャー	レクチャー	セミナー	リーディング	↓	↓
夕刻			Amigos	ヨガ	セミナー	↓	↓
夜			Amigos				

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
最大の目的は英語力の向上であったが、元々学生時代に外国に住んでみたいという憧れがあった。コロナ禍で留学できるかどうか心配だったがチャンスは今しかないと思い留学する決心をした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
高校生の時から毎日続けていたオンライン英会話はとても役に立った。日本に住んでいながら常に英語を話す機会を自ら作っていたため留学しても会話には困ることがなかった。留学前に受けたIELTSのスピーキングの練習にもなった。やっておけばよかったと思うことは日頃から友達と意見交換を行うことである。授業内でグループでのディスカッションが多かったため常に意見を持っていた方がよい。
留学先を選んだ理由
ダラム大学は世界トップ100の大学であり、治安も悪くなさそうだったため選んだ。
交友関係
サークルや授業、セミナー、パーティー、寮、友達の紹介で友達を作ることが多かった。
困ったこと、大変だったこと
初めの2ヶ月は、新しい環境で身体が慣れずに体調を崩す毎日だった。そのため、これから先イギリスに滞在できるかどうか不安になることもあった。病院にも2回ほど行ったが、薬はもらえず、授業にも参加できなかったため大変だった。
学習内容・勉強について
留学生は3学部から6つの授業を選択できるため、興味のある授業を選んだ。どの授業も共通して授業前のリーディング（参考文献を読むこと。ページ数が多い）が欠かせなかった。
課題・試験について
課題は主に与えられた資料を読み、セミナーで何か発言できるようにしておくことだった。試験はレポート形式でオンラインでの提出だった。授業によっては、プレゼンをするものもあった。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
留学はやってみて正解でした。9ヶ月間、楽しいことも苦しいことも嬉しいことも辛いことも沢山ありましたが、色んな経験ができたからこそ価値のある留学になったと思います。毎日が新しくチャレンジングできついなと思うこともありましたが、休みの日は友達と街に出掛けたり、お家に招待してもらったりしてリフレッシュしていました。私が留学中に心掛けていたことは何でも「挑戦」してみることです。外国人で英語が完璧ではない私が場に馴染めるかどうかや友達は作れるかなど多少不安はありましたが、色んなイベントやサークルに積極的に参加することによって自信が生まれ、多くの方との交流を楽しむことができました。自ら行動しなければ、新しい人や世界に出会えなかったので不安ながらも行動して良かったです。帰国した今でもそこで出会った人たちとはオンラインでの交流が続いているため将来またどこかで会えることを願っています。 また、留学中には以前熊大に留学していた方たちにもお会いすることができ感動の再会となりました。留学後も引き続き英語の勉強に力を入れたいと思います。今留学を少しでも考えている方には留学することを勧めたいです。留学は9ヶ月間と短いですが、きっと新しい発見や自分自身を見直すきっかけとなる貴重な時間になると思います。応援しています！

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
☒ 就職	☐ 進学	☐ 未定	☐ その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
留学終了後			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
特になし			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Self, identity and Society			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Sociology		
単位数	20		
単位互換	☒ 申請（単位数：20） ☐ 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20時間＋セミナー		
担当教授	Carl Barton		
授業内容	アイデンティティの形成について		
試験・課題など	formative 500ワード、summative 2000ワード		
感想など	アイデンティティは常に周りの環境に影響されながら形成されていくことを例を探しながら学んだ。		

履修した授業科目名			
Sociology of Education			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Sociology		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数：） ☒ 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20時間＋セミナー		
担当教授	Jason Arday		
授業内容	教育を階級やジェンダー、人種など様々な視点から見た。		
試験・課題など	formative 750ワード、summative 2000ワード		
感想など	セミナーでは主に大学のあり方についてのディスカッションが多く、いろんな意見があって面白かった。		

履修した授業科目名			
Sociology of reproduction and parenthood			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Sociology		
単位数	10		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	10時間＋セミナー		
担当教授	Elizabeth Burns		
授業内容	両親のあり方、良い母親、父親とは何かについて		
試験・課題など	3000ワード		
感想など	セミナーでは良い両親とは何かについての討論が行われ、日本の子育てと比べながら意見を出すことができた。		

履修した授業科目名			
Learning and development in Childhood			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Education		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20時間＋セミナー		
担当教授	Rebecca Armstrong		
授業内容	子供の発達について		
試験・課題など	エッセイプラン600ワード。formative, summativeそれぞれ2500ワード。		
感想など	子供の成長について色々な視点から考えることができた。		

履修した授業科目名			
Cultural identity, interculturality and Education			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Education		
単位数	20		
単位互換	☒ 申請（単位数： 20 ） ☐ 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20時間＋セミナー		
担当教授	Anas Almassri		
授業内容	グローバルサウスの教育方法と課題について		
試験・課題など	グループごとのプレゼンテーションと2500ワードのレポート		
感想など	教育の仕方は国によって様々でありそれぞれに良い部分と悪い部分があり、日本の教育と比較しながら学ぶことができた。		

履修した授業科目名			
Islam observed			
使用言語	English	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Theology and religion		
単位数	20		
単位互換	✓申請（単位数： 20 ） 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20時間+セミナー		
担当教授	Guillermo Martin Saiz		
授業内容	イスラーム、ムスリム世界とは何か。ムスリムコミュニティはどのようにして社会に溶け込んでいるのかなどについて。		
試験・課題など	また、後期の試験ではオンラインで3題出された。それぞれ1000ワード。		
感想など	イスラム世界にとっても興味があったので受講した。授業で実際にモスクに行ってお話を聞く機会もあった。		

写真	
	

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 7 月 3 日

留学開始時学年	3 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	コミュニケーション情報学科
留学先機関名	ダラム大学	国・地域名	イギリス・ダラム市
留学先所属	☐ 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） ☒ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☐ その他：		
留学期間	2022年 9月 21日 ～ 2023年 6月 23日		
奨学金	☒ JASSO海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 ☐ その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	0 円			
語学研修費	0 円			
教材費	0 円			
ビザ申請費	137,000 (NHS加入代金含む) 円			
渡航費	440,000 円			
海外旅行保険料	110,000 円			
宿舎費	家賃	1,080,000 円	デポジット	35,000 円
生活費	光熱費	0 円 / 月	0 円 / 年	
	食費	20,000 円 / 月	200,000 円 / 年	
	通信費	1,800 円 / 月	18,000 円 / 年	
	交通費	0 円 / 月	0 円 / 年	
その他	(交際 費)			200,000 円
その他	(雑 費) 日用品など			120,000 円
その他	(費)			円
合計	2,203,000			円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他： 語
受験した語学能力試験	☒ IELTS ☐ TOEFL-iBT ☐ その他：
勉強方法	IELTS講座に参加する・公式テキストを使って自習
留学先の手続き	
必要書類	☒ 語学能力証明書（英語） ☐ 健康診断書 ☒ パスポートの写し ☒ その他：Application form（派遣先大学から送られてきたもの）、英文の成績証明
大変だったこと、どのように取り組んだか等	Application form 内にある履修登録が大変だったため、同派遣先に行く友人と一緒に行いました。またパスポートの期限が留学中に切れるため期間外パスポート更新が必要になり、通常よりも多くの書類が必要になりました。どちらも時間を要したので、何事も早く取り組んでおくことが大切だと思います。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	☒ 有 ☐ 無	種類	Student Visa
申請先	☒ 国内 ☐ 現地 場所： 東京	手続きに 要した期間	約3週間
手続きの流れ	まずオンラインでビザ申請の手続きをし(1時間以上かかりました。ビザ申請用費用もオンラインで先払いでした。)、ビザセンターの訪問日を予約、予約日にセンターでパスポートを預け、数週後に家にビザ付きのパスポートが届きます。		
必要書類	☒ 入学証明書 ☐ 残高証明書（金額： ） ☐ 保険証 ☒ パスポート ☒ 語学能力証明書 ☐ その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
特にありませんでした。			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路：JAL 復路：大韓航空	往路：なし 復路：韓国・ソウル	
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程	
各自公式サイトを利用しました。	出発日時	9月 20日
	到着日時	7月 3日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	☒ 寮 ☐ アパート ☐ その他：	部屋の形態	☒ 1人部屋 ☐ 相部屋（ 人） ☐ その他：
同居人	☐ 日本人学生 ☒ 他国からの学生	住居手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で ☐ その他：
住居の申込 手順・方法	上記したApplication formに記入欄があり、寮を希望すると自動的に大学寮が手配されました。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	私のフラットメイトは様々な国から来た大学院生が多く、特にトラブルはありませんでした。キッチンのみ共同で、バスルームは部屋に自分専用で付いていました。ただ、他のフラットでは食事付きだったり、シェアバスルームのところもあったので、自分が割り振られた寮の情報は日本を出国前にしっかり調べておく、事前に準備ができて良いと思います。また、寮からの連絡はかなり遅いので、辛抱強く催促することが大切です。		
大学への交通手段	☐ バス ☐ 電車 ☒ 徒歩 ☐ その他：	通学時間	20分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について（現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等）	
現地銀行口座は解説せず、クレジットカードですべて決済していました。クレジットカードは自分名義のものを3枚持っていました。	
保険について	
海外旅行保険	☒ 国内で加入 ☐ 現地のものに加入
現地で加入を求められる保険	☒ なし ☐ あり：
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について （SIMカードの購入について等）	SIMカードはビザセンターで支給されたものを利用しました。到着後も大学から何枚か支給されたもので、買う必要はなかったです。
インターネットについて （ネット環境、Wi-Fiについて等）	大学内・寮の両方で大学のWi-Fiを利用していました。
相談窓口について	
有無	☐ 無し ☒ 学内（担当：国際課、寮） ☐ 学外（機関名：）
問題があったときに 誰に相談したか	学校の問題は国際課、寮の問題は寮の窓口で相談していました。
病院について	
☒ 利用しなかった	☐ 利用した：
現地では調達できない日本から持って行くべきもの	
自分に合うアレルギーの薬	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	☒ 渡航前 (3月頃) ☐ 渡航後 (月頃)
方法	☐ オンライン ☒ 志願書類の提出 ☐ その他:
留学生特例措置 (有りの場合、詳細をご記入ください)	
履修制限	☐ 無し ☒ 有り (3学部の授業を100-140 credits まで)
優先措置	☒ 無し ☐ 有り ()
オリエンテーション (留学生専用)	☐ 無し ☒ 有り ()
チューター制度	☒ 無し ☐ 有り ()
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等) サポート体制自体は整っていますが、自分からお願いしない限りは支援はありませんでした。寮なども部屋に案内されるだけで、基本的には新入生用のイベントに自ら参加したり、手助けをお願いしたりする必要があります。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
☒ 学生証発行 ☐ 履修登録 ☐ 大学IDの設定 ☐ その他	
手続きの手順	
自分用のポータルで写真や誕生日などを入力(オンライン)、後日発行された学生証を受け取りに行きました。	
大学・学生の雰囲気	
大学・学生共に雰囲気はとても落ち着いている感じで、勉強にとっても集中しやすい環境でした。大学が提供する図書館やその他の施設も、どれも新しくとても充実していました。	
授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
サークルはSocietyと呼ばれていて、新入生用のイベントが大学開始一週間で行われるなかでその紹介や体験がありました。インスタグラムやFacebookのアカウントもそれぞれあるので、色々調べてみてから試しに参加、入会は費用が必要ですがあまり高くないので気軽に入れると思います。大学専属の部活もありますが、部活はそれなりの実力と練習時間が要求されるので、本格的に頑張りたい方におすすめです。	

8. 留学に関するタイムチャート（留学するまでの準備）

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	国際教育課にて交換留学についての説明を受ける・IELTS講座受講
7月～9月	IELTS受験と交換留学申請書類の準備
10月～12月	英語の勉強、熊大での授業の受講(留学に向け多めに履修)
2021年 1月～3月	英語の勉強、熊大での授業の受講(留学に向け多めに履修)
4月～6月	英語の勉強、熊大での授業の受講(留学に向け多めに履修)
7月～9月	元の渡航先に行けず(新型コロナウイルスの影響)、行先を変更、それに伴うIELTSの再受験のための勉強開始
10月～12月	IELTS再受験とそれに向けた勉強
2022年 1月～3月	留学資金のためのアルバイト、パスポート取得、(3月)Application form の提出
4月～6月	留学資金のためのアルバイト、ビザ申請準備、英語の勉強
7月～9月	英語の勉強、渡航に向けた準備(渡航先ホテルの予約・パッキング等)
10月～12月	渡航先で授業を受講、フレッシュャーズのイベント参加等、(12月)ターム末課題の提出

9. 1週間のスケジュールについて（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
午前			Lecture		Seminar		
	Lecture(授業)			Seminar(議論型授業)	Lecture		
午後		Pre-reading(予習)	Lecture			Pre-reading	Pre-reading
	Pre-reading	Pre-reading		Pre-reading	Lecture		Pre-reading
夕刻			Society(サークル)			Society	
夜							

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
長年英語を勉強していたので、もっと英語力を上げたかったこと、そして文化交流に興味があったことをきっかけに留学を決意しました。またぼんやりとはありましたが、留学自体高校時代から行きたいと考えていたので、大学に入学し交換留学の存在を知ってからすぐに話を聞きにいきました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
英語の勉強はしていましたが、留学に必要な試験はなかなかハードルが高いので、もっと早めから本格的に取り組むべきだったと思いました。また留学には資金が必要なので、資金の準備も早々から始めておいたほうが良かったです。
留学先を選んだ理由
英語圏が希望だったので、イギリス、アメリカ、オーストラリアに絞った中で、ダラム大学のあるダラムの街並み・全寮制であるところが魅力的に感じたほか、イギリスの歴史も好きだったのでダラム大を選びました。
交友関係
寮のキッチンを共有しているフラットメイトや、他大学から同じく交換留学で来ている日本人の友人と最も仲良くなったと思います。Societyで友達になった人も何人かいました。
困ったこと、大変だったこと
自炊だったので、体調を崩した時の食料調達や自己管理が大変でした。またチューターのサポートなどはなかったので、渡航当初は買い物や学校に行くのも全部自分で探さなければならなかったのが、言葉の壁もあり考えていたよりもずっと困難でした。フラットメイトと仲良くなり慣れてからはかなり楽になりました！
学習内容・勉強について
私の所属する学科と似た学部・学科がなかったので、個人的に興味のあった教育学とビジネスの授業を履修しました。各授業週に1回ずつのレクチャー(先生の話を一方向的に聞いて学ぶ授業)と、隔週でセミナー(議論型の授業)が行われたほか、それらの授業に向けて自分で予習をしなければなりません。個人的にこの予習の量がかなり多かったことが大変でしたが、徐々に慣れていきました。
課題・試験について
課題・試験はまとめて学期末に1度だけありました。私は履修登録時に最終課題がエッセイのものばかりを選んだため、各授業の最終課題は2500~3000 wordsのエッセイでした。日ごろは提出必須の課題などはありませんでしたが、予習はある程度しておかないと授業についていけなくなるので、空き時間で行っていました。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
海外で家族・友達のいない状態から新たな生活を始めるのはとても困難が多いですが、その分楽しい事・心に残る思い出もたくさんできますし、達成感も大きいです。私は留学を通して、逆境に強くなったのはもちろんですが、さらに自分の価値観や軸ついてより深く知り、新たな可能性も発見できたと考えています。留学先での友達もかけがえのない存在になりました。留学を終えた今、この経験は自分の人生の中でも最も濃く、そして重要な転機になったと思います。今留学をするか迷っている方がいたら、ぜひ行くことをおすすめします！

1 1. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
☒ 就職	☐ 進学	☐ 未定	☐ その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
帰国後すぐ(4年の夏)			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			

1 1. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Learning and Development in Childhood			
使用言語	英語	履修期間	通年
科目設置学部・研究科	Education		
単位数	20 credits		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	Lectures and Seminars		
授業時間数	30時間(予習含め200時間)		
担当教授	Dr Qi and Dr Dobson		
授業内容	幼児の成長・発達について		
試験・課題など	子どもの成長や教育に興味がある方におすすめです。将来子どもを持つことがあればとても役立つと思います。		
感想など			

履修した授業科目名			
Constructing Childhood and Youth			
使用言語	英語	履修期間	通年
科目設置学部・研究科	Education		
単位数	20 credits		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	Lectures and Seminars		
授業時間数	30 時間(予習含め200時間)		
担当教授	Dr Llewellyn		
授業内容	「"幼少期"は社会によって構成されている」というテーマを基に、映画・アニメ・おもちゃを通した子どもの表象について探る		
試験・課題など	Digital presentation (15分) & Essay (2500 words)		
感想など	新しい視点から自分の良く知る映画やおもちゃについて考えることができ、おもしろかったです。		

履修した授業科目名			
Higher Education: Issues of Exclusion and Inclusion			
使用言語	英語	履修期間	通年
科目設置学部・研究科	Education		
単位数	20 credits		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	Lectures and Seminars		
授業時間数	30時間(予習含め200時間)		
担当教授	Dr Raaper and Prof Tummons		
授業内容	高等教育へのアクセスの機会の平等性について考える		
試験・課題など	Essays (2000 words & 2500 words)		
感想など	大学入学や大学内での評価について、様々な視点から考えたことは新鮮でした。		

履修した授業科目名			
People, Management and Organisation			
使用言語	英語	履修期間	☒ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	Business		
単位数	20 credits		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	Lectures and Seminars		
授業時間数	28時間(予習含め200時間)		
担当教授	Dr. Zhang		
授業内容	Human Resource Managementの基礎を学ぶ		
試験・課題など	Essay (3000 words)		
感想など	1年生用の授業なので基礎事項でしたが、だからこそ色々な場面で役立つことを学べたと思います。		

履修した授業科目名			
Human Resource Management			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☒ Spring
科目設置学部・研究科	Business		
単位数	20 credits		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	Lectures and Seminars		
授業時間数	28時間(予習含め200時間)		
担当教授	Dr. Chalkiadaki		
授業内容	Human Resource Management について		
試験・課題など	Essay (2500 words)		
感想など	People, Management and Organisation の発展版で、より実践的なマネジメントについて学びました。		

写真



熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 7 月 12 日

留学開始時学年	3 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	コミュニケーション情報学科
留学先機関名	ダラム大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	☐ 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) ☒ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☐ その他：		
留学期間	2022 年 9 月 26 日 ~ 2023 年 6 月 30 日		
奨学金	☒ JASSO海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 ☐ その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	500,000(熊大への支払い)				円
語学研修費					円
教材費	3800				円
ビザ申請費	62,019				円
渡航費	108,250（マイルの為サーチャージ代のみ）				円
海外旅行保険料	97,520				円
宿舎費	家賃	円	デポジット	33,845	円
生活費	光熱費	円 / 月	円 / 年		
	食費	円 / 月	円 / 年		
	通信費	円 / 月	円 / 年		
	交通費	円 / 月	円 / 年		
その他	（ 国民保険 費） 78719				円
その他	（ 費）				円
その他	（ 費）				円
合計	275,903				円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他： 語
受験した語学能力試験	☒ IELTS ☐ TOEFL-iBT ☐ その他：
勉強方法	・IELTSの過去問を何回も解く ・BBCニュースを聴く ・オンライン英会話でスピーキングの練習
留学先の手続き	
必要書類	☒ 語学能力証明書（ 英 語） ☐ 健康診断書 ☐ パスポートの写し ☐ その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	IELTSで4技能満遍なくスコアを取ること

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	☒ 有 ☐ 無	種類	
申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所：	手続きに 要した期間	1ヶ月程度
手続きの流れ	オンラインで申請し、東京のVISAセンターまで書類を提出しに行った。		
必要書類	☒ 入学証明書 ☒ 残高証明書（金額： ） ☐ 保険証 ☒ パスポート ☒ 語学能力証明書 ☐ その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路：タイ航空 復路：ルフトハンザ、ANA	往路：タイ 復路：ドイツ	
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程	
ANA	出発日時	9月 26 日
	到着日時	7月 1 日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	☒ 寮 ☐ アパート ☐ その他：	部屋の形態	☒ 1人部屋 ☐ 相部屋（ 人） ☐ その他：
同居人	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生	住居手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で ☐ その他：
住居の申込 手順・方法	18あるカレッジの中から割り当てられた寮に住む。（要望は聞いてくれる）事前にメールでやりとりする。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	寮によって異なるが、私の寮では男女混合のフロアメイト10人で2つのシャワーと2つのトイレを共有。始めはなかなか慣れないが、徐々に慣れてくる。		
大学への交通手段	☐ バス ☐ 電車 ☒ 徒歩 ☐ その他：	通学時間	時間 15 分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について（現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等）	
近くに換金所があったため、必要な時に現金を引き出していた。クレジットカードはどこでも使える。	
保険について	
海外旅行保険	☒ 国内で加入 ☐ 現地のものに加入
現地で加入を求められる保険	☐ なし ☐ あり：
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について （SIMカードの購入について等）	大学で配布されたSIMカード（Lebara）を使用
インターネットについて （ネット環境、Wi-Fiについて等）	ダラムは街全体が大学ということもあり、基本的にどこでもWiFiが使えた
相談窓口について	
有無	☐ 無し ☒ 学内（担当：ポーター） ☐ 学外（機関名：）
問題があったときに 誰に相談したか	寮のポーター（24時間駐在しているため、いつでも相談可能）
病院について	
☒ 利用しなかった ☐ 利用した：	
現地では調達できない日本から持っていくべきもの	
コンタクトレンズ	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	☐ 渡航前（月頃） ☒ 渡航後（10月頃）
方法	☒ オンライン ☐ 志願書類の提出 ☐ その他：
留学生特例措置（有りの場合、詳細をご記入ください）	
履修制限	☐ 無し ☒ 有り（留学生が履修できないクラスがいくつかあった）
優先措置	☒ 無し ☐ 有り（）
オリエンテーション （留学生専用）	☐ 無し ☒ 有り（）
チューター制度	☒ 無し ☐ 有り（）
その他	
留学先大学でのサポート体制について （語学面／学校生活／住居・日常生活等）	
申し込みばエッセイの書き方などを教えてくれるコースがあった。授業では、留学生だからといって特別扱いされることはなく、ローカルと同じように扱われた。その分、勉強についていけるだけの努力はしなければならない。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
☒ 学生証発行 ☒ 履修登録 ☐ 大学IDの設定 ☐ その他	
手続きの手順	
学生証は、寮に入ってから直ぐにそれぞれの寮で手渡された。履修登録は、行ってからオンラインです。学部によって、留学生は受けられないクラスもあるため注意が必要。しかし、頼めば通る場合もあるためとりあえず聞いてみることを推奨する。	
大学・学生の雰囲気	
カレッジ制をとっている大学は珍しいため、学生に人気がある。ダラム大学には18の寮があり、基本的には自分の寮の学生と友達になりやすい。オクスフォードやケンブリッジに落ちた学生が多くいる印象を受けた。寮の中には24時まで使えるパブや学生がくつろげるラウンジ等もある。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
入学して直ぐのフレッシュャーズウェークで、スポーツ系・文化系に分かれたサークルの紹介イベントが開催される。ここで入りたいサークルの情報をもらう。	

8. 留学に関するタイムチャート（留学するまでの準備）

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	TOEIC受検・IELTS講座
10月～12月	
2022年 1月～3月	IELTS受検
4月～6月	VISA申請
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	レクチャー		レクチャー				
	予習	セミナー	セミナー	レクチャー	セミナー		
午後		レクチャー	予習	レクチャー	セミナー		
	セミナー	予習		予習	予習		
夕刻	課題	Bible Studies	Amigos	課題	課題		
夜	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム		

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
社会に出る前に外国で生活してみたかったから。また、英語を使って専門的なことを学びたかったから。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
IELTS6.5をとる必要があるため、それに向けてひたすら勉強した。ディスカッションで焦らないために、日頃から自分の意見を持つことを意識しておけば良かったと思っている。
留学先を選んだ理由
世界でもトップレベルの大学であるためレベルの高い学びができると思い、ダラム大学に決めた。また、自然が美しく、街全体が世界遺産に登録されている歴史あるダラムの街並みも決め手だった。
交友関係
フレッシュャーズウィークでは寮内で毎日イベントがあり、数えきれない人と話すため友達が沢山できる。友達を作るにはイベントに参加することが大事である。それ以外では、毎日ダイニングホールで食事をするため、そこで会話が弾み仲良くなる人が多かった。
困ったこと、大変だったこと
最初の2ヶ月はずっと風邪を引いていた。これは、フレッシュャーズフルと呼ばれ、周りの学生も殆どみんな同じ状況だった。セミナーの授業では必ず意見を求められるので、予習には人一倍の時間をかけた。周りの話すスピードについていけず悩んだ時期もあったが、時間と経験が解決する。
学習内容・勉強について
講義の内容は、スライドをもとにしているので予習をしておけば理解できる。周りの学生は教授が言うことを一言一句逃さずPCにメモしていたので私もその習慣がついた。レコーディングを残してくれる教授もいて、聞き逃したところや不安なところは何度も聞き直して復習した。論文を書くために文献を読み漁っていたため、速読ができるようになった。
課題・試験について
課題はなかったが、セミナーのための予習は欠かせなかった。試験は2000~3000字程度のSummativeが2つがあり、事前に500字のFormative（Summativeの要約）を提出することで教授からアドバイスをもらえる。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
この留学を通して、何事にも恐れずに挑戦できるようになりました。新しいことに挑戦する場面が多く、最初は戸惑いますが次第に慣れ、それが自信に変わります。また、出会いの大切さを実感しました。友達が増えるほど情報量が増え、その分自分の行動範囲が広がりました。授業ではディスカッションをする機会が多く、周りの学生の発言量と発言する内容に圧倒され、最初の2ヶ月は自分の発言力の無さに心が折れる日々を送っていました。しかし、毎日図書館に籠っては予習をし、日頃からキリスト教の友達と聖書を読み、意見を言い合うなど、自分なりに工夫をすることで、徐々に発言する抵抗感を克服できました。寮では毎月フォーマルディナーがあり、ドレスを着て参加したり、寮に遊園地が来たりと、日本では経験できないことを沢山経験でき、とても充実した生活が送れました。留学先では自分の知らなかった世界を見て、将来の選択肢が広がりました。留学を迷っている人には、挑戦してみることを強くお勧めします。

1 1. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
☒ 就職	☐ 進学	☐ 未定	☐ その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
6月			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
4月にCFNという海外大生のためのイベントがあるため、そこに参加したければ早めの準備が必要			

1 1. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Sociology of Education			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	社会学部		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	レクチャー・セミナー		
授業時間数	30時間		
担当教授	Sol Gamsu		
授業内容	実力主義社会や教育を受ける意味について		
試験・課題など	Formative 2 (各500字) ・ Summative 2 (各2000字)		
感想など	イギリスの階級社会や教育の現状を知ることができた		

履修した授業科目名			
Self, Identity and Society			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	社会学部		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	レクチャー・セミナー		
授業時間数	30時間		
担当教授	Vikki Boliver		
授業内容	自己、アイデンティティ、社会組織について		
試験・課題など	Formative 2 (各700字) ・ Summative 2 (各2000字)		
感想など	自分と社会について見つめ直すきっかけとなった		

履修した授業科目名			
Sociology of Reproduction and Parenthood			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	社会学部		
単位数	10		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	レクチャー・セミナー		
授業時間数	15時間		
担当教授	Kimberly Jamie		
授業内容	良い親の在り方・子育てについて		
試験・課題など	Formative 1 (500字)・Summative 1 (2500字)		
感想など	将来の自分の在り方について、多角的な面から考えられるようになった		

履修した授業科目名			
Marketing Principles			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	ビジネス学部		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	レクチャー・ワークショップ		
授業時間数	28時間		
担当教授	Jonquil Hinson		
授業内容	マーケティング理論の基礎		
試験・課題など	Formative 1 (プレゼン資料)・Summative 1 (3000字)		
感想など	多国籍なメンバーのグループの中でスライドを作るのは難しかったが、良い評価がもらえた時はとても達成感があった		

履修した授業科目名			
Entrepreneurship			
使用言語	英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	ビジネス学部		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	レクチャー・セミナー		
授業時間数	30時間		
担当教授	Kieran Bradley		
授業内容	起業について		
試験・課題など	Formative 1 (1000字)・Summative (オンライン試験)		
感想など	起業について、メリットとデメリット、起業する人の特徴など細かい部分まで理解が深まった		

履修した授業科目名			
Chinese Stage 3			
使用言語	中国語・英語	履修期間	☐ Fall ☐ Spring
科目設置学部・研究科	外国語		
単位数	20		
単位互換	☐ 申請（単位数： ） ☒ 申請しない		
授業形態	セミナー		
授業時間数	60時間		
担当教授	Yu Gu		
授業内容	HSK 4 級レベルで会話中心の授業		
試験・課題など	スピーキング・リスニング・ライティング・リーディングの試験		
感想など	スピーキング・リスニング力の向上のために受けたが、最終的には教授と問題なく中国語で会話できていたため、かなり上達したと思う		

